中播労働組合

すべからざることを喜ぶ九七の者極力殺害せんとするが、時は移
り社長の帰神せるの態度如何によりては
支払ふ事は僅かに逆睹し難しと信ず、
又は社職首脳者は何れも決を要し果たし、
沈静せんとするも罷業者以上困備し居るが
故其の態度は絶望的気勢あり、よることは甚だ意
に価す、

一、中播労働組合の組織

兵庫縣飾磨郡八木村地方の有塩田労働者
共は今般中播労働組合を作りて之が共
会員も去る十一日発会式を挙げ、目下労働同盟
会に加盟せり、然るに同会の行動甚だ

播磨造船
207人解雇

多数に之に手当を交付せり、
同郡才は一帯に塩田にして之に従事せる
労働者は千名以上なり、毎年夏期休暇の間に
は多く争議を起すを例とせり、
昨年は僅かに一ヶ年、二三百円ですませ困窮せる
極に達し、罷業者甚だ多く、為めに人数少なるに不
足せり、今後は更に難かるべし

一、播磨造船所の解雇

鈴木経営の播磨造船所にては去る七日事業
不振を理由として二千名中二百七名を突如解
雇せり、解雇手当は一切を合して四年以上勤
続者にて二百五十円位なりと云ふ。